第１５６回経営協議会議事録

日　　時　　令和７年１２月２２日（月）１５時３０分～１６時１５分

場　　所　　第一会議室（Zoomによるビデオ会議併用）

出 席 者　（学外委員）
門脇委員、小間委員、小向委員、長友委員、端山委員、平井委員、森(正)委員、森(淳)委員、森口委員、安田委員
（学内委員）
田野学長、西岡理事、村松理事、大家理事、大月理事、阪口学域長、仲谷研究科長
（オブザーバー）
小池副学長、美濃島副学長、市川監事、美馬監事

議　　題
議事録報告承認
１．第１５５回経営協議会議事録報告承認　（資料①）
審議事項
１．中期計画の変更について　（資料②-1～3）
２．令和７年度学内補正予算（案）について　（資料③）
報告事項
１．令和７年度政府補正予算について　（資料④）

議　　事
議事録報告承認　第１５５回経営協議会議事録
　田野学長から、第１５５回経営協議会議事録（案）について説明があり、これを承認した。

審議事項　１．中期計画の変更について
　村松理事から、令和５年度に「大学・高専機能強化支援事業」に選定され、「デザイン思考・データサイエンスプログラム」の定員増加計画のとおり、情報理工学研究科博士後期課程の入学定員の増を行うことに伴い、今期の中期計画の別表を変更して記載した所定様式を文部科学省へ提出する必要がある旨の説明があり、これを了承した。

審議事項　２．令和７年度学内補正予算（案）について
　大月理事から、運営費交付金の追加配分などにより、令和７年度当初予算から大きく金額の変動が見込まれることから、項目毎に執行状況や今後の執行予定を精査し、令和７年度学内補正予算を編成することについて説明があり、これを了承した。
主な意見は次のとおり
（学外委員）　補正予算ではなく、いつから当初予算に反映されるのか。
（学内委員）　本来は当初予算で措置すべきであり、首相もその必要性に言及しているが、財

務省との折衝もあり先行きは不透明である。

（学外委員）　新聞報道にあった空調設備の修理代などは施設予算から出ないのか。

（学内委員）　施設整備費や設備補助金の具体的な配分額については、今週末の政府予算案閣議決定を待つ必要がある。

（学内委員）　空調等の修理費については、大学の窮状を社会に訴えるため、あえて厳しい数字を公表した経緯がある。

（学外委員）　今回の補正予算は物価高騰分を埋め合わせるに十分な額なのか。

（学内委員）　全く足りていない。積立金を取り崩すなどして対応しているのが現状である。

（学内委員）　文部科学省の当初要求額に対しても、今回の措置額は十分とは言えない。また、補正予算は単年度限りのため、来年度以降も継続的に措置される保証がない点が課題である。

（学外委員）　人件費の増額が 3,000 万円となっているが、人事院勧告を 100％実施し、４月に遡及して支給できるという理解でよいか。また、採用遅れによる 9,900 万円との関係はどうなっているのか。

（学内委員）　人事院勧告には約 1.3 億円必要だが、採用遅れ等で生じた不用額 9,900 万円と、今回の追加配分からの 3,000 万円を充てることで、国家公務員と同様に 100％実施する。採用活動については意図的に抑制しているわけではなく、予定通り進めている。

（学外委員）　令和８年度の予算案において、人事院勧告２年分を維持するにはさらなる積み上げが必要ではないか。

（学内委員）　非常に厳しい。財務省は「補正で出した分を当初予算から差し引く」というロジックを使いがちだが、それでは立ち行かない。ただし、第５期中期目標期間からは、インフレ率に連動して予算を自動調整する仕組みの導入が議論されており、中長期的には改善を期待している。

報告事項　１．令和７年度政府補正予算について

大月理事から、令和７年度政府補正予算について報告があった。

（学内委員）　補正予算の措置については、これまでの大学側の尽力が結実した結果であり、高く評価したい。しかし、来年度以降の政府予算の見通しが依然として不透明である以上、大学としては、外部資金の獲得にこれまで以上に注力していくことが不可欠である。

（学内委員）　補正予算の獲得は良かったが、あくまで一時的な措置であることに留意すべきである。

生成 AI の台頭により、大学教育が大きな転換期を迎えている。コーディング等のスキルが AI で容易に代替可能となる中、既存の演習のあり方を見直し、正確にチェックできる本質的な力を育てる教育へシフトしていく必要がある。他大学が模索している今こそ、本学が抜きん出た存在となることを期待する。

［配付資料］

①．第１５５回経営協議会議事録（案）

②-1．中期計画の変更について

②-2．国立大学法人電気通信大学の中期計画新旧対照表

②-3．デザイン思考・データサイエンスプログラムについて

③．令和７年度学内補正予算（案）について

④．令和７年度文部科学省関係補正予算【抜粋版】